

認定こども園ひかり園

新入園児保護者説明会 (保育部)



こども家庭庁

「はじめの100か月の育ちビジョン」

を閣議決定(令和5年12月22日)

子ども政策の国の指針

「はじめの100か月」とは？



誕生前



0歳

1歳



2歳

3歳



年少

4歳



年中

5歳

年長

6歳



小1

7歳

※

※幼保小接続の重要な時期

10か月

12か月

12か月

12か月

12か月

12か月

12か月

12か月

12か月

10か月

+

84か月

+

12か月

- ✓ お母さんがこどもを妊娠してから、小学校1年生の途中くらいまでが、だいたい100か月(※)。
- ✓ 長い人生において、人格の基盤を築く、はじめの重要な時期というメッセージが込められています。

「はじめの100か月の育ちビジョン」はなぜ必要？

「はじめの100か月」は、人生を幸せな状態（ウェルビーイング）で過ごすため、特に大切な時期です。
しかし、すべてのこどもがひとしく、健やかに育つことができるのかについては、課題があります。



生まれるとき、保育園などに通うとき、小学校に入るときや、家庭、園、関係機関、地域

などの間に「切れ目」が多いため、

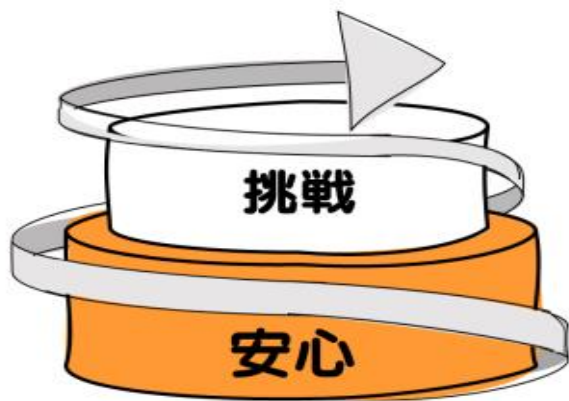
- ✓ 社会全体で幼児期までのこどもの育ちを支える共通した考え方を広め、
- ✓ 「はじめの100か月の育ちビジョン」に関連する取組を力強く進めていく、道しるべが必要です。



0歳児から18歳児の学びは、連続している。

乳幼児の育ちには、

「安心」と「挑戦」の繰り返しが大切



豊かな遊びと体験



様々な人や自然・絵本などの環境と出会い、興味・関心に
応じた「遊びと体験」をすることで、外の世界へ「挑戦」



アタッチメント（愛着）



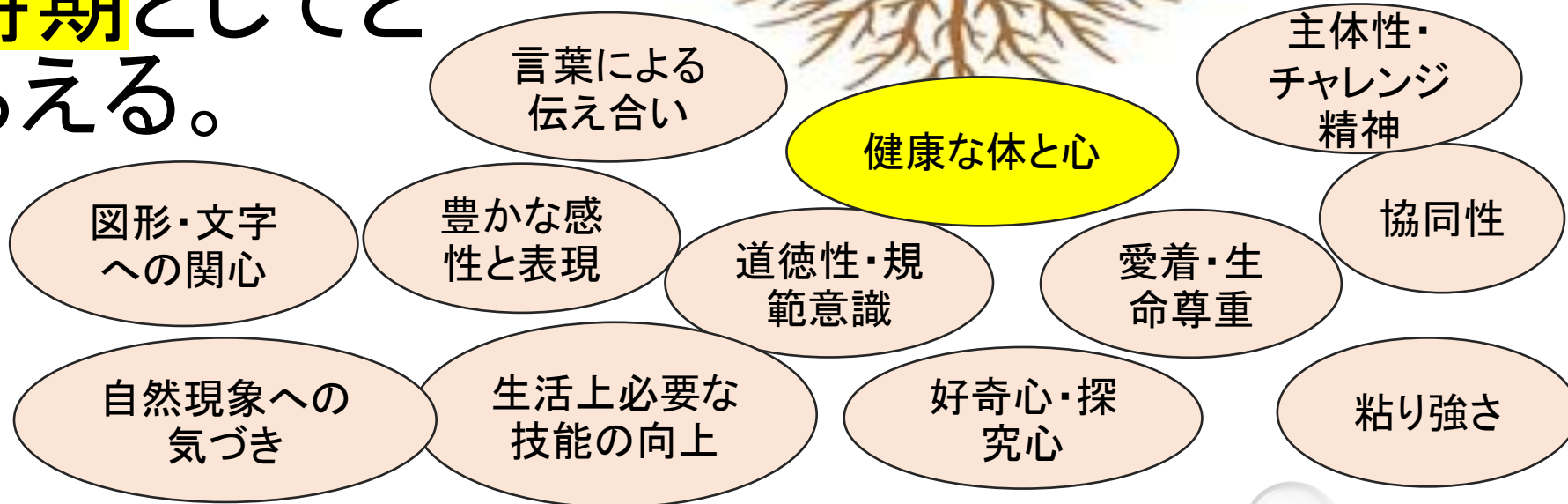
こどもが不安なときなどに身近な大人が寄り添うことや、安心感
をもたらす経験を繰り返すことが、「安心」という土台を築く

ひかり園では

乳幼児期を
人としての
「根っこ」が
育つ大事な
時期としてと
らえる。



・小学校との
接続を意識し、
入学以前に身
につけたい力
の決めだしま
した。



主体性・
チャレンジ
精神

基本目標

子どもたちの力と考えを信じて待つひかり園

・具体目標

1 遊びの中で学ぶ・・・水、土、草花など自然物とのかかわり、人とのかかわり、5感を鍛え、探究する遊び

2 体験から学ぶ・・・やってみたい気持ちを高めて、夢中になって取り組む体験、連続的に探究する遊び

3 自己肯定感を高める・・・幼児は、自己肯定感の塊。好きなこと、得意なこと、やりたいこと、できるようになったことを増やす。それを見逃さずに認める。

大切にしたいこと


- ☀️ 子どもの好奇心・やりたい気持ちから、遊び・活動を決めだす
- ☀️ 環境つくりやカリキュラムを工夫し、過程を大事にする。
- ☀️ こどもたちができるようになったことを、見逃さずに、ほめる、認める。

保育の過程を“ひかりっこストーリー”として配信

- ・学級担任から・・・コドモン(アプリ)で毎日
- ・園だより月2回
- ・保育部だより月1回
- ・行事動画配信
- ・ホームページ“ひかりっこストーリー”に公開(幼稚部)

ひよこ組

春

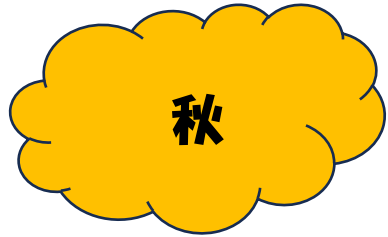
バギーに乗ってお散歩するよ！
チューリップ見つけた 



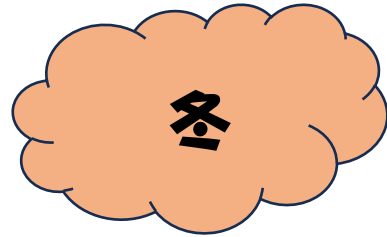
夏

夏といえば、スイカだね！
おいしいな～ 





ヒカリンピックの
衣装を作ったよ 🌟



「お壁ぺったん」して
歯磨きタイム～ ✨



ことり組

5月お散歩に
いって
きまーす



7月園の
畑で
ジャガイ
モ掘り

10月食器の片付け
一人で出来るよ。



12月楽器遊び 🎵
クリスマス会で演奏し
ました。

りす組



月に一回、栄養士の西田先生から、食べ物の話を聞きます！
様々な食材に触れ、子ども達は興味津々です♪



園バスで昭和の森公園まで
園外保育に行きました♪
バスでのお出掛けは、
子ども達も大好きです！！

広いグラウンドで大好きな雪遊び♪
お友達と一緒に雪だるま作りに夢中
です☆



年明けから箸を使って食事を
しています！
「ご飯つかめたよ！」と掴め
たことが子ども達の自信に
なっています☆

読み聞かせの大切さ 園でも、お家でも

子どもの心が安定する 想像力が育まれる

言語能力が高まる 感情が豊かになる 集中力が上がる

乳幼児期に絵本の読み聞かせをしてもらうという経験は、子どもの自己形成や共感性、協調性を育てるなど情緒や対人関係の発達に関係し、児童期以降の読書推進のためにも大きな役割を担っているといえます。また、読み聞かせには読み手である大人にも影響を与える、相互作用をもったコミュニケーションであることも明らかとなっています。

お家の方へのお願い

衣食住

- ・食事
- ・十分な睡眠
- ・清潔な衣服

読み聞かせ

- ・本を読み聞かせる
- ・一緒に調べる
- ・本を選ぶ
- ・一緒に読む

お手伝い

- ・何かお手伝いを
- ・お手伝いの中身を話し合って決める

できたことをほめる

- ・よくできたね
- ・よく調べたね
- ・助かったよ
- ・おいしいね!
- ・ありがとう!

- お子さまのご入園を、
職員一同、心よりお待ちしております。

